

〈体育科〉 2年

現在の分析

〈運動や健康・安全への関心・意欲・態度〉

- ・体を動かすことが好きな児童が多く、進んで運動に取り組んでいる。
- ・きまりやルールを守って活動することができる児童が多い。
- ・運動の課題に対して取り組もうとする態度が見られた。

〈運動や健康・安全への思考・判断〉

- ・遊び方の工夫や、友達のよい動きを取り入れて遊ぶことができる。
- ・友達のよい動きを見つけることができる。

〈運動の技能〉

- ・水の中での移動やもぐる・浮くができる。
- ・かけっこでまっすぐに走ったり、いろいろな方向に走ったりすることができる。
- ・曲に合わせ、リズムにのって踊ることができる。

重点課題

〈運動や健康・安全への関心・意欲・態度〉

- ・勝敗を受け入れたり、場の安全に気を付けたりすることができるようにする。

〈運動や健康・安全への思考・判断〉

- ・ゲームの攻め方や、守り方を工夫することができるようにする。
- ・自分の考えや見つけたことを伝えられるようにする。

〈運動の技能〉

- ・運動経験が不足している児童には、基本となる運動を経験し、達成感が味わえるような運動を多くできるようにする。

授業改善策

〈運動や健康・安全への関心・意欲・態度〉

- ・運動遊びやゲームを通して、友だちと協力する、お互いに意見を出しあうなど友達と関わる機会を与え、誰とでも仲良く活動する楽しさを味わえるようにする。

〈運動や健康・安全への思考・判断〉

- ・児童のよい動きを共有する時間を効果的に取り入れ、やってみたいという気持ちをもたせたり、真似をしたりさせてよい動きを広めていく。
- ・いろいろな運動や楽しいゲームを通して、心身のコントロールがうまくできるように、運動の楽しさを体験させる。
- ・授業中に、見付けたことや良かったことを伝える場面を設定する。

〈運動の技能〉

- ・誰もが楽しめる工夫を行い、一人一人ができたりわかったりすることができるようにする。
- ・一人一人が自分にあつためあてを達成できるように場を工夫する。
- ・走る、跳ぶ、転がる、のぼる、おりる、ぶら下がる等の動きの基本となる運動に重点を置き、身に付けさせる。
- ・とび箱、マットなどを使った運動遊びでは、逆さや腕支持などの基本的な動きを身に付けられる場を作り、自分のめあてに合った運動を行うことができるようにする。